



## 2023年度総会報告

本年度通常総会を6月17日(土)に高知市市民活動サポートセンターで開催し、活動会員51名中、出席19名と委任状提出26名により総会は成立し、昨年度活動報告及び収支決算、本年度活動計画及び収支予算を承認いただきました。

長引くコロナ禍のなか、昨年度も感染対策に配慮しながら子どもの声を聴く活動を行いました。開設日数は77日(前年度比19日増)と概ねコロナ禍以前の水準に戻り、着信は1,819件(前年度比349件増)でした。

チャイルドラインカードは、夏に学校を通じて子どもたちに配布しています。また、受け手養成講座を3年ぶりに開催し、新たに9期生を迎えて開設体制の充実につなげました。

同様に2年延期していた10周年記念講演会&パネルディスカッションを開催し、これまでの活動を振り返るとともに、これからの活動のあり方を分かち合うことができました。

昨年度の収支決算は次のとおりです。10周年記念事業実施などから当期収支差額は4万6千円余りのマイナスとなりました。大口の寄付を含む多くの方からの寄付金をいただき、寄付総額は50万2千円余りとなっています。深く感謝申し上げます。

本年度も子どもたちの声を聴く活動を中心に、よりよい活動ができるように実践してまいりますので、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

		内 訳	
2022年度 収入合計	A	995,630円	会費収入 281,000円 寄付金収入 502,540円 参加費収入 59,000円 その他 53,092円
2022年度 支出合計	B	1,042,599円	10周年記念事業費 172,840円 カード製作費 76,952円 ピンバッジ製作費 58,300円 研修事業費 80,418円 事務所費 276,000円 通信費(カト)郵送費含) 257,326円 その他事務費等 120,763円
2022年度 収支差額	C(A-B)	△46,967円	
前年度 繰越金	D	776,152円	
次年度 繰越金	E(C+D)	729,185円	



## チャイルドラインの全国の状況

コロナ禍に入り、活動が思うように出来なかった時期を経て、現状は全国的にどのような状況なのか、チャイルドライン支援センターの報告書から抜粋しました。

### ■フリーダイヤルの状況

2022年度は年間で前年に比べ約47,000件の発信が減少しました。一方、着信数は約21,700件増加し、着信率が10ポイント近く上昇しました。総実施時間数は約1,900時間の増加(昨年度も同水準)となりました。コロナ禍における実施体制の縮小は改善したと考えられます。一方、総通話時間と平均通話時間は減少しました。

### ■2022年度(2022年4月～2023年3月)発信・着信データ【全国】

発信数：410,720本      着信数：184,627本  
着信率：45.0%      平均通話時間：4分47秒  
総通話時間：14,717時間      総実施時間：36,083時間

チャイルドラインとして様々な強化プロジェクトを行っています。

例えば、聴く体制強化プロジェクトとして、ネットでんわや、オンラインチャット、また「つぶやく」などの新たな活動が将来、毎日開催できるようにいろんな施行を行っています。

さらに、子どもの声を聴くための体制強化を目指した「チャイルドライン全国キャンペーン」の実施(2022年8月22日～9月4日)も行っています。

その他にも、子どもの心の居場所となるよう、子どもの「声」を聴く質の向上を目指し、自殺予防対策研修など各種研修も行っています。

寄附つき  
メニュー

食家 雅

吟之夢

1,200円  
(うち100円が寄附)

寄附つきメニューを頼んでいただく、チャイルドラインこうちに寄付がいただけます。

## ご寄付のお礼 (2023年1月～7月)

ご寄付をいただいた皆様をご紹介します。皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

### <企業・団体の皆様>

国際ソロプチミストよさこい高知 30,000円

### <個人>

森畑東洋一 様・大崎博澄 様 ほか匿名1名

### ◆会員数 (2023年8月1日現在)

活動会員数 51人

支援会員数 34人